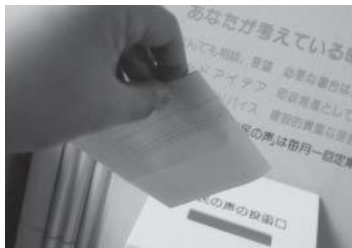


あなたの声をお待ちしています

町では、開かれた行政を目指し、皆さんからのご意見やご質問を受け付けています。地域での疑問、普段感じていることなど、どんなことでも結構です。町へのご意見ご質問の投書は、役場庁舎と町公民館、町民総合体育館、さわやかハウス1階の各1階にある「町民の声」のほか、郵送や電子メールでも受け付けています。皆さんの「声」をお気軽にお寄せください。



■投書する方へのお願い

投書への回答を希望する方は、必ず氏名と連絡先を明記してください。

町をみんなできれいにする運動



町では、今年1回目の「町をみんなできれいにする運動」を行います。皆さんが気持ちよく暮らせる美しいまちの実現を目指し、多数のご参加をお願いします。

▶日時 4月10日(日) 午前6時から午前7時まで (小雨決行)

▶ごみ処理方法 集めたごみは、各自治会のごみ集積所または清掃センター(西徳田)へ搬入してください。清掃センターの搬入時間は、午前6時30分から午前8時30分までです。

▶問い合わせ 役場企画財政課企画係 (☎611-2722) ※2回目の「町をみんなできれいにする運動」は、9月25日(日)に実施予定です。

皆さんのご参加をお願いします!

北上川 河川敷清掃

▶日時 4月16日(土) 午前6時から午前7時まで (小雨決行)

▶集合場所 ①高田グラウンド ②徳田橋下の道路 ③東徳田グラウンド ④土橋グラウンド ※最寄りの場所に集合してください。

▶問い合わせ 北上川矢巾地区愛護協議会会長 菅原三郎さん (☎697-2987)

おしえて!
好きな食べ物
(北高田保育園 3歳児)



「イチゴ」

なかむら こうくん



「バナナ」

すずき かのん ちゃん



「リンゴ」

かつ しゅんすけ くん



「ブドウ」

さいとう かのん ちゃん



「バナナ」

くどう ゆうあくん



「ミカン」

たけい ゆあ ちゃん



「おこく」

ささき みらいくん

やはば文芸の森

「やはば短歌の会」 会員の作品から

高田三区 北田みどり

朝明けに湖を登つ白鳥のゆく手の山が霞みて見ゆる
庭に咲く紅梅の花わが部屋に友より賜びし花びんに香る

南矢幅 中野 和子

九十の叔母を見舞ひて顔を見つ若さの残る笑くば親しく
わが友はわれに会ふたび常に言ふ健やかなれば会ふこと易し

南矢幅 小川 文子

春休みに屋根に登りて歌うたふ歌ひし子供のころ蘇る
泣きながら不治の病に飼へざりと置かれし猫は声も出ださず

仙台市 石ヶ森やす子

行きずりに見し白梅に近寄りて一輪二輪聞くすがしき
孫達の写真の並ぶ窓外に雀の頭しきりに動く

※やはば短歌の会からのお知らせ: 毎月二回、金曜日に町公民館で短歌の勉強会を開催しています。皆さんお気軽にご来場ください。

宮沢賢治と矢巾町

「銀河鉄道の夜」の舞台は南昌山

第6回

宮沢賢治と矢巾町のかかわりを紹介するこのコーナー。今回は賢治が親友である藤原健次郎（白沢出身）や南昌山などを題材として詠った短歌の一部を紹介します（解説は「矢巾町宮沢賢治を語る会」の松本隆会長によるものです）。

① 寄宿舍で健次郎と2人でランプ掃除をした思い出を詠った短歌

▼キシキシと ひきあげを押し むらさきの 石油をみたます 五つのランプ

▼タオルにて ぬぐひ終われば 台ランプ 石油ひかりて みななまめかし



寄宿舍でランプの手入れをする賢治(左)と健次郎(イメージ)

【解説】「キシキシと ひきあげを押し」は、ランプに石油を入れるときに使った手押し給油機のことです。

② 健次郎と南昌山で石を採取した思い出を詠った短歌

▼のろぎ山 のろぎをとれば いただきに 黒雲を追ふ その風ぬるし

▼のろぎ山 のろぎをとりに いかずやとまたもその子に さそはれにけり

【解説】「のろぎ石」は石英安山岩のやわらかい石のこと。のろぎ山は南昌山を指し、賢治はこの石を採取しに何度も南昌山を訪れました。



③ 南昌山で野宿した思い出を詠ったと思われる短歌

▼まくるなる 石をくだれば なほもさびし 夕日は落ちぬ 山の石原

▼毒ヶ森 南昌山の 一つらはふとおどりたちて わがぬかに来る

『歌稿B』(大正四年四月) 239

▼岩鐘の きわだちくらき 肩に来て 夕の雲は 銀の挨拶

【解説】「岩鐘」は、鐘を伏せたような山の形をしているところからつけた、南昌山の愛称です。

④ 南昌山と周辺の山について詠った短歌

▼箱ヶ森 みねの木立に ふみ迷い さびしき原を ふりかえり見る

▼しろがねの 雲流ながれ行く たそがれを 箱ヶ森らは 黒くたたく

【解説】「箱ヶ森」は、現在の赤林山のこと。昭和に入ってから名称が変更されました。

▼袴腰 南昌山の 一列は みな灰雲に あとをくらます

【解説】「袴腰」は、山の形が台形の東根山を指すと思われる。

④ 南昌山の特徴について詠った短歌

▼いまははや 誰か惑はん これはこれ 安山岩の 岩頸にして

▼をちこちに 削りのこりの 岩頸は松黒くこめ 白雲に立つ

【解説】「岩頸」は火山が侵食して、火道のなかにあったマグマが岩となつて残った地形。南昌山を指すと

考えられます。

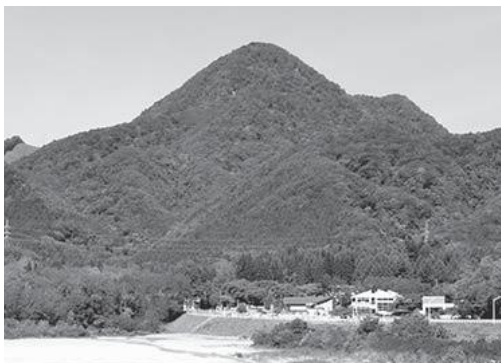
④ 楊の木について詠ったと思われる短歌

▼風来たり 高鳴るものは やまならし あるいてポプラは さとりのねがひ

▼なきやみし 鳥をもとめて 泪せぬ 木々はみだれて 葉裏をしらみ

【解説】この2首は健次郎との思い出を回想して作った童話「鳥をとるやなぎ」に出てくる「楊の木」について詠った短歌です。「楊の木」はドロノキ(泥の木)のこと。賢治は健次郎と訪れた南昌山の麓の岩崎川の河原で「楊の木」に出会い、風に吹かれて葉がキラキラ光るのを見て「エレッキのやなぎの木」と呼び、終生興味を持ち続けました。

【次号へ続く】



次回は賢治が南昌山を題材にして書いた詩を紹介します

※「宮沢賢治と矢巾町」は「矢巾町宮沢賢治を語る会」の松本隆会長に監修および資料の提供をいただいています。